

防災チャットボットを活用した平時運用機能の開発

研究分担者 萩行 正嗣（株式会社ウェザーニューズ AI イノベーションセンター
チームリーダー）

研究要旨：

R2年度関連研究で開発された対話型災害情報流通基盤（防災チャットボット：人工知能を活用した自動会話プログラム）の活用を前提としたうえで、「平時と有事のD-VICS入力情報・運用方法の整理」で検討した平時に収集すべき情報について入力する機能を開発することを目的とした。

被災者アセスメント調査票及び事前調査票、発災前・発災後の安否確認調査票について、LINE上で入力できるシステムを開発した。

防災チャットボットのシステム開発はおおむね完了した。今後の課題としては、避難行動に繋がる情報や被災者に有用な情報の提供、多様な要支援者への対応、インターフェース改善について検討を行い、より使用しやすいシステムとしていくことが求められる。

A. 研究目的

R2年度関連研究で開発された対話型災害情報流通基盤（防災チャットボット：人工知能を活用した自動会話プログラム）の活用を前提としたうえで、「平時と有事のD-VICS入力情報・運用方法の整理」で検討した平時に収集すべき情報について入力する機能を開発することを目的とした。

B. 研究方法

被災者アセスメント調査票及び事前調査票、発災前・発災後の安否確認調査票について、LINE上で入力できるシステムを開発した。システムは実証実験で検証を行った。開発する機能は「D-VICSを利用した住民参加型の訓練プログラムの開発」の訓練において活用可能なものとした。

（倫理面への配慮）

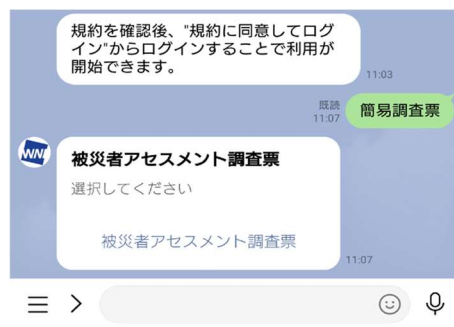
実証実験にあたって、被災者役の状況付与データを用意することで、実際の個人情報を扱う

ことを避けた。

C. 研究結果

1. 被災者アセスメント調査票

LINE IDと個人情報をLINE社サーバーを介さずD-VICSに登録する機能を開発した。また、LINE IDをキーとしてLINEトーク上の回答情報を外部連携する機能を開発した。



× 被災者アセスメント調査票
https://form.stg.prsfrm.ichilab.org

被災者アセスメント調査票

登録しました。 ×

この調査票は、被災状況を直ちに把握し、適切に関係機関と共有することを目的とした調査票であり、本調査票に記載いただいた情報の共有に当たっては、災害時における支援活動のために使用いたします。本調査票に記載した情報を、地方自治体が設置する避難所の管理者、当該地方自治体の災害対策本部及び保健医療福祉調整本部等において共有することに同意いただける場合にご記入・入力下さい。

郵便番号 必須 (郵便番号はハイフンなしで入力してください。例：6810001)

生年月日 必須 (誕生日はyyyyymmddの形式で入力してください。例：1980年9月01日 ⇒19800901)

姓 必須 (漢字または英文字)

名 必須 (漢字または英文字)

セイ 必須 (カタカナ)

メイ 必須 (カタカナ)

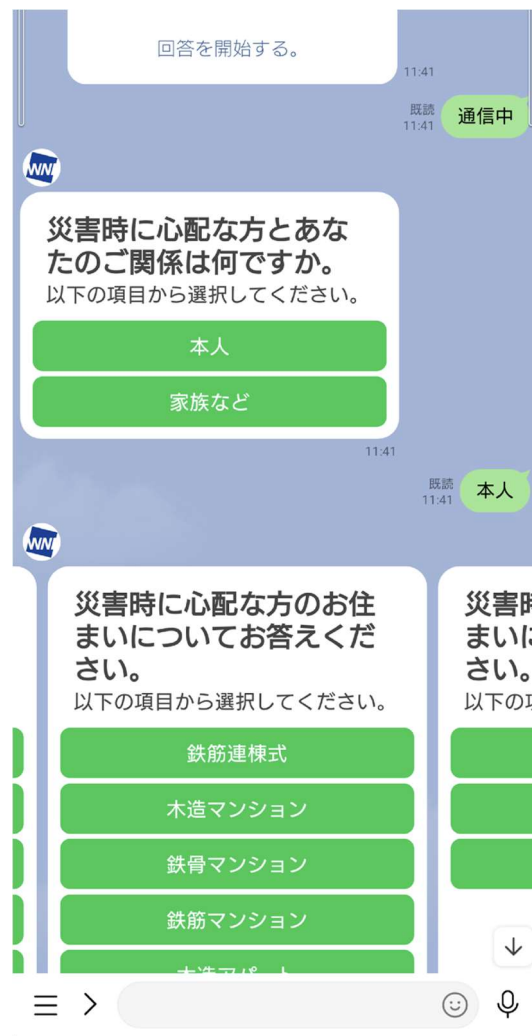
確認

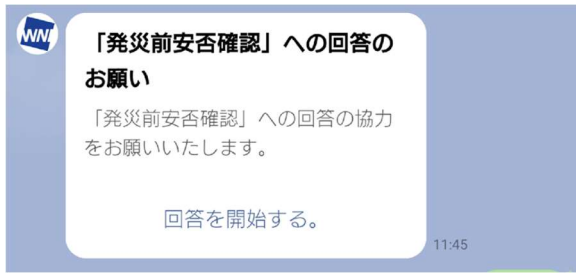
2. 事前調査票、発災前・発災後の安否確認調査票

本研究で整理された帳票の各調査票をLINE上で入力できる機能を開発した。入力された情報はD-VICS上で個人情報と突合したうえで、自治体が閲覧可能となるようにシステム開発した。

事前調査票については、選択肢(ボタン)式の入力により簡単な操作で簡易版個別避難計画の対応者かのスクリーニングを実施できるよう検討した。また、発災前・発災後の安否確

認調査票は、選択肢式の回答による安否状況に加え、地図上での入力による現在地登録を可能にした。これにより安否情報の空間的な状況を把握できるようになった。





は、入力訂正方法の検討、入力を促す文言の簡易化の検討がある。

E. 研究発表

1. 論文発表
特になし
2. 学会発表
特になし

F. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
特になし
2. 実用新案登録
特になし
3. その他
特になし



D. 考察

防災チャットボットのシステム開発はおおむね完了した。

今後の課題としては、避難行動に繋がる情報や被災者に有用な情報の提供に関しては、安否確認後に近隣の開設避難所等の情報を表示したり、帳票の回答を元に個人ごとに支援物資情報などを送信する機能の検討がある。また、多様な要支援者への対応に関しては、PCから回答できる調査票の作成、ユニバーサルデザインの調査検討、視覚障害者向けインターフェースの検討がある。インターフェース改善に関して